

令和元年度 英語学習実施状況について

金沢市立諸江町小学校

①小学6年生 英語学習意識調査（令和元年度12月実施） （％）

		そう思う	どちらかと言えば そう思う	どちらかと言えば そう思わない	そう思わない	無回答
問1	英語の勉強が好きだ。	16.4	30.9	31.8	20.9	0.0
問2	英語の勉強は大切だ。	59.1	24.5	10.9	5.5	0.0
問3	ショートタイムの時間は英語の勉強に役立っている。	22.7	59.1	11.8	5.5	0.9
問4	英語の授業がわかる。	30.9	49.1	11.8	8.2	0.0
問5	英語で先生や友達に質問することができる。	13.6	41.8	31.8	10.0	2.7
問6	先生や友達の英語の質問に英語で答えることができる。	14.5	46.4	29.1	7.3	2.7
問7	アルファベットの大文字が書ける。	80.9	11.8	3.6	0.9	2.7
問8	アルファベットの小文字が書ける。	76.4	14.5	4.5	1.8	2.7
問9	副読本「Sounds Good Jump」の文を見て、書き写すことができる。	59.1	25.5	8.2	4.5	2.7
問10	副読本の本文を声に出して読むことができる。	20.0	31.8	30.0	15.5	2.7

②来年度に向けての指導改善の具体策（令和元年度2月実施「英語教育に関する報告書」より）

- ・ 英語での会話の必要性を持たせるために、児童の実態に応じたコミュニケーションの目的を具体的に設定する。
- ・ 読み書きの技能の向上のために、文字指導の機会を増やす。
- ・ 学びを深めるため、日常生活とつながる場面の積極的な提示や、外国人との交流の機会の増加を図る。

### ③学校関係者評価

- ・良いと思います。
- ・これまで通り、子供たちの教育のために先生方一同頑張ってください。先生方もやることが多く大変だと思いますが応援しています。
- ・得意不得手があるのは当然で、妥当な結果だと思う。ここから少しでも苦手意識をもたずに、英語を好きになってくれる授業ができるように期待します。
- ・「英語の勉強が大切だと感じる」のは素晴らしいと思う。英語はコミュニケーションが大事だと思うので、「英語の勉強が好きだ」と感じる子が児童が増えることを望みます。また、外国人の方と恥ずかしがらずにコミュニケーションがとれるよう、早いうちに慣れることが重要だと思うので、外国人や外国人講師との接点をさらに増やすことができないでしょうか。
- ・子供たちが、「英語は大切だ」と思っている児童の割合が高いのに、「英語の勉強」が好きという割合が高くないという格差が問題であると考え。英語が好きだ・楽しいと思える子供を増やすような授業が必要ではないか。
- ・全体の50%の子供たちは、意識が前向きようです。
- ・英語の勉強はとても大切だと思っているのが、英語の勉強が好きだと思わない子の方が多いということは、何か方法に問題を抱えている可能性があると思われる。
- ・英語は毎日の継続が必要であり、ショートタイムの英語が役立っていることが分かる。英語の授業が分かる子が8割を超えている。日々の取組の成果だと思われる。
- ・英語を使って話すことについては、4割程度が十分でないと言っている。これらは発話を増やす必要があり、今後パソコンが1人1台になれば録音機能等を使って話す回数を増やしていくことで解決する可能性がある。大学でもロイロノートというアプリを使っているが、英語の発音に重ねての録音機能があり、何度でも繰り返してできる点が優れていると感じられる。英語の学習にはきわめて汎用性が高い。
- ・文字を書くことにはあまり抵抗がない。今後文字指導も入ってくるが、音声と文字を上手く結びつけることによって暗記の効果は高くなる。
- ・英語は大切だと思っているが、自分から話すことに抵抗があり、自信が無いなど苦手意識から好きになれない傾向があると思われる。
- ・ICTを活用して、英語を使う場面を増やし、聞いたり、話したりする必然性を授業や日常の中に取り入れることをお勧めする。英語に慣れ親しむ環境も重要である。また、国際交流なども取り入れて欲しい。英語が第二言語である国との交流は、英語は伝える手段であり、発音が少々間違っても恥ずかしくない意識をもたせることができる。特に台湾などは2030年度に英語を公用語にすることを狙っており英語力も高い。親日的でもあるので交流するにはちょうど良い国であると思われる。
- ・英語を第2母国語として習得するには、児童期の興味・好きになることが大切である。読み書きは本で学べるが、聞く話すは日常的生活とつながる体験が一番効果がある。外国人との交流は、好奇心をくすぐり会話は楽しく身につく一番の近道と考える。現状の教育では、読み書きはできても聞き取り会話が苦手な大人が多くでき上がっていると思う。
- ・意外と嫌いな子が多いのは意外でした。今の段階で改善しないと、今後この子達には辛い事態になると思います。
- ・必要性を感じている子が多いので少しは安心ですが、学習が進むにつれ下がっていきますので、今が肝心のように思います。
- ・英語の授業が分かる子が多いです。少しでも多くなるように少しの工夫が必要ではないか。また、英語で質問したり、質問に英語で答えるたりすることが苦手な子に対しても少しの工夫で改善できるのではないか。
- ・英語に苦手意識がない子がどのようにしてそうなったのかを分析し、苦手意識がある子への手立ての参考にすることが必要。
- ・従来から中学、高校6年間英語を学習しても、ほとんどの人は日常会話ができません。指導方法を根本的に見直すべきです。小学校から英語教育をするのですから、こうならないよう指導方法を考えるべきだと思います。グローバル化に対応するためと思いますが、まずは国語をしっかりと学習すべきだと思います。